

## 令和4年度 第2回 安曇野市総合教育会議

令和5年2月16日(木)午後3時00分

安曇野市役所 3階 全員協議会室

### 1 開 会

### 2 市長あいさつ

### 3 教育長あいさつ

### 4 議 事

(1) 第3次安曇野市教育大綱(案)について

資料1

資料2

資料3

### 5 報告事項

(1) 第1回総合教育会議の議論を踏まえた取組について

『安曇野市立こども園・幼稚園・小学校・中学校の特色と魅力を高める安曇野市教育のあり方について』の実現に向けて

(ア) 小規模特認校制度の導入について

資料4

(イ) 令和5年度 安曇野市学校教育グランドデザインについて

資料5

### 6 その他

### 7 閉 会

## 【第 2 次】 安曇野市教育大綱（現計画）

期間：平成 30 年 12 月 18 日～令和 5 年 3 月 31 日

### 基本理念

子どもが健やかに育ち、生涯を通じて学び合い、文化を創り育むまちを築きます。

### 基本方針

- 1 “からだを動かし、頭で考え、心に感ずる”「たくましい安曇野の子ども」を乳幼児期から学齢期のそれぞれの発達に応じて、連携して育みます。
- 2 豊かな人間性の基礎と社会性を育む家庭教育を充実し、学校・家庭・地域が協働して子どもたちを育みます。
- 3 安曇野の自然や人の中で、豊かな体験や交流を通して人間形成を図る保育・教育に取り組みます。
- 4 生涯の各段階に応じた学習機会を充実させ、生きがいをもって地域社会で活躍できる生涯学習社会の構築を図ります。
- 5 スポーツ活動の充実を図り、だれもが健康で笑顔あふれ、活力みなぎるまちを目指します。
- 6 先人が培ってきた歴史や文化を基にした文化芸術の振興を図り、“文化のかおり高いまち”をつくります。
- 7 市民の多様化する「学び」の要望に応え、本や情報と人とが出会い交流する広場を創出し、知と心が満たされる社会の実現を目指します。



# 【第3次】 安曇野市教育大綱（案）

期間：令和5年4月1日～令和10年3月31日

## 基本理念

- \*からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。
- \*すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

※「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、安曇野市堀金出身の文芸評論家・作家・教育者の白井吉見さん(1905-1987)の講演「中学生諸君に望む」(1967)から

## 基本方針

### 1 子どもを育む環境の充実と共生社会の実現

安曇野の自然や地域の中で、体験・交流活動を充実させ、安心して子育てができる環境を整えます。また、一人ひとりの個性を認め合う共生社会の実現を目指し、すべての子どもの権利を尊重します。

### 2 学校教育の充実

協働的・探究的な学びを通じて特色と魅力ある学校づくりを推進し、郷土への愛着と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動する児童生徒を育みます。

### 3 家庭・地域との連携の推進

学校と家庭、地域が連携・協働する体制の一層の充実を図り、豊かな人間性と社会性を育む学びを地域ぐるみで支えます。

### 4 生涯を通じた学びの創出

多様化する学びの要望に応え、情報や人と人が出会う環境を整えます。また、さまざまな人々が集い交流し、生涯にわたって自分らしく自ら学習活動に参加できる地域社会をつくれます。

### 5 スポーツを楽しむ環境の充実

幼児期からの成長の土台づくりと体力の向上に取り組みます。また、幅広い世代のニーズに合わせ、スポーツに親しみ、スポーツを楽しむ環境を充実させます。

### 6 文化・芸術活動の推進と歴史・文化遺産の継承

伝統文化や遺産の継承、新たな文化・芸術活動の創造や交流を推進し、安曇野らしい文化・芸術の更なる振興を図ります。



総合計画 将来ビジョン

自然、文化、産業が織りなす  
共生の街 安曇野

基本理念

- ・からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓くたくましい安曇野の子ども”を育みます。
- ・すべての人が生涯を通じて学び合う、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

総合計画（後期）施策	基本方針	主な個別事業等
1-8 子どもを育む環境の充実 1-9 質の高い保育・幼児教育の実現 5-1 学校教育の充実 5-2 家庭・地域との連携の推進 6-2 共生社会の実現  子ども家庭支援課、こども園幼稚園課 学校教育課、生涯学習課、人権共生課 障がい者支援課、健康推進課	1 <b>子どもを育む環境の充実と共生社会の実現</b> 安曇野の自然や地域の中で、体験・交流活動を充実させ、安心して子育てができる環境を整えます。また、一人ひとりの個性を認め合う共生社会の実現を目指し、すべての子どもの権利を尊重します。	・あつみの自然保育 ・多様な保育ニーズへの対応 ・ICT活用による子育て情報発信 ・子育てに関する総合相談窓口設置 ・こども園の施設整備 ・児童館、放課後児童クラブの整備 ・学校施設・給食センター等の改修 ・子育てに関する給付金等の支給 ・支援を要する子どもへの療育の充実 ・保健医療部の諸事業 ・日本語を母語としない児童への支援 ・人権教育（人権学習）の更なる充実 ・特別支援学校在籍児童生徒の副学籍の活用、交流及び共同学習の充実 ・多様性を尊重し合うことへの配慮 ・広島平和記念式典参加事業 ・平和学習資料巡回展示 ・被爆ピアノによる平和祈念コンサート
1-8 子どもを育む環境の充実 5-1 学校教育の充実 5-2 家庭・地域との連携の推進 6-2 共生社会の実現 6-3 交流活動の推進  子ども家庭支援課、学校教育課、学校給食課、こども園幼稚園課	2 <b>学校教育の充実</b> 協働的・探究的な学びを通じて特色と魅力ある学校づくりを推進し、郷土への愛着と誇りを持ち、自ら考え、判断し、行動する児童生徒を育みます。	・小中学生の学力向上推進 ・配慮を要する子どもへの支援の充実 ・食育、地産地消の推進 ・給食地域食材献立「安曇野の日」 ・不登校支援、多様な学びの場 ・ICT環境の整備と活用 ・切れ目ない保育・教育、一貫教育 ・「安曇野の時間」の創設 ・探究的な学びの発表の場としての「中学生議会」
1-8 子どもを育む環境の充実 5-1 学校教育の充実 5-2 家庭・地域との連携の推進 6-2 共生社会の実現 6-3 交流活動の推進  子ども家庭支援課、学校教育課、生涯学習課、文化課、こども園幼稚園課、政策経営課	3 <b>家庭・地域との連携の推進</b> 学校と家庭、地域が連携・協働する体制の一層の充実を図り、豊かな人間性と社会性を育む学びを地域ぐるみで支えます。	・コミュニケーション事業 （学校運営協議会と地域学校協働活動） ・キャリアフェスティバル ・部活動の地域移行 ・子ども文化祭 ・子ども会育成会 ・ジュニアリーダー育成 ・放課後子ども教室「わいわいランド」 ・友好都市との青少年交流事業 ・青少年等の居場所づくり
5-2 家庭・地域との連携の推進 5-3 生涯を通じた学びの創出 5-5 文化・芸術活動の推進 6-2 共生社会の実現 6-3 交流活動の推進  生涯学習課、文化課、障がい者支援課、健康推進課、観光課、スポーツ推進課	4 <b>生涯を通じた学びの創出</b> 多様化する学びの要望に応え、情報や人と人が出会う環境を整えます。また、さまざまな人々が集い交流し、生涯にわたって自分らしく自ら学習活動に参加できる地域社会をつくりまします。	・地域公民館活動と地区公民館活動 ・地域文化祭など成果の発表 ・早春賦まつり、童謡祭りなど特色ある地域事業の推進 ・地域夏祭りの充実 ・公共図書館、交流学習センター ・電子図書館 ・インターネット等活用環境の整備 ・ブックスタート、セカンドブック ・オンライン講座の充実 ・フレイル対策諸事業
5-2 家庭・地域との連携の推進 5-3 生涯を通じた学びの創出 5-4 スポーツを楽しむ環境の充実 6-2 共生社会の実現 6-3 交流活動の推進  学校教育課、スポーツ推進課	5 <b>スポーツを楽しむ環境の充実</b> 幼児期からの成長の土台づくりと体力向上に取り組みます。また、幅広い世代のニーズに合わせ、スポーツに親しみ、スポーツを楽しむ環境を充実させます。	・あつみの自然保育 ・コアティネーショントレーニング ・小中学生の体力向上推進 ・自力登下校の推進 ・部活動の地域移行 ・商工観光スポーツ部の諸事業 ・公民館のスポーツ交流の場の推進
2-7 地域独自の観光資源の活用 5-3 生涯を通じた学びの創出 5-5 文化・芸術活動の推進 5-6 歴史・文化遺産の継承 6-2 共生社会の実現  文化課、生涯学習課、総務課、観光課	6 <b>文化・芸術活動の推進と歴史・文化遺産の継承</b> 伝統文化や遺産の継承、新たな文化・芸術活動の創造や交流を推進し、安曇野らしい文化・芸術の更なる振興を図ります。	・アーツ・イン・レジデンス ・美術館・博物館連携事業 ・信州安曇野新能 ・文化財保全、文化財保存活用活動 ・若手芸術家対象の企画事業 ・東京藝術大学交流事業 ・0歳からのミニコンサート ・新進音楽家の活動支援 ・文書館事業 ・出前講座、コンパクト展示 ・公民館文化祭事業



## 小規模特認校制度の導入について（案）

R5.2.14 安曇野市教育委員会事務局

## 1. 経緯

安曇野市第1回総合教育会議（令和4年12月27日実施）において、「安曇野市立こども園・幼稚園・小学校・中学校の特色と魅力を高める安曇野市教育のあり方について」をテーマに議論が行われた。

この中で、地域の課題解決の一つとして、明科地域の活性化策として小規模特認校制度の導入が提案され、概ね了承を得た。

## 2. 小規模特認校制度とは

文部科学省による「通学区域制度の弾力的運用について(通知)」(平成9年1月27日付け文初第78号文部省初等中等教育局長通知)以降に導入された「学校選択制」の一つである「特認校制」のうち、「小規模校」において取り入れられている制度。

特認校制	従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの
------	--

小規模ならではの特色ある教育活動を行う小学校や中学校を市教育委員会が指定し、保護者の申し出により、市内全域から弾力的に入学・転学することができる。

## 3. 長野県内における小規模特認校制導入状況【6市町12校】

自治体名	導入年	学校名	備考
伊那市	平成21年 平成30年 令和3年	新山小学校 伊那西小学校 高遠北小学校	
辰野町	平成25年	川島小学校	R6年度末廃校予定
大町市	平成26年 平成29年	美麻小中学校	義務教育学校
	平成27年 R5年	八坂小学校・八坂中学校	義務教育学校
飯田市	平成30年	上村小学校	
長野市	平成30年	鬼無里地区小規模特認校 (鬼無里小・中学校)	建物が別々のため2校カウント
松本市	令和4年4月	安曇小中学校	建物が別々のため2校カウント

(R5.2.8 教育総務係調べ)

#### 4. 明北小学校に小規模特認校を導入した場合のメリット（例）

- ・ 明北認定こども園に市内の他地域から通っている園児が、明北小学校に希望すれば入学が可能になる。
- ・ あづみの自然保育で育った子どもたちが、地域の自然を活用した特色ある教育活動を存分に行うことができる。
- ・ 1クラスの人数が20名以下、全校児童数約80名（R5.4.1見込み）の小規模ならではの少人数教育を受けることができる。

#### 5. 小規模特認校導入までの流れ（案）

	1年目	2年目	3年目
教育委員会事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者、地域住民、校長会等から意見聴取</li> <li>・ 安曇野市通学区審議会の立上げ、諮問</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者説明会、市民説明会等説明会の開催</li> <li>・ 意見集約</li> <li>・ 実施要綱の検討</li> <li>・ 導入準備、広報</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 定例会へ実施要綱の付議</li> <li>・ 告示</li> <li>・ 対象校の学校見学</li> <li>・ 説明会の開催</li> <li>・ 募集開始</li> <li>・ 入学、転入審査</li> <li>・ 入学通知書発送</li> <li>・ 入学説明会</li> </ul>
安曇野市通学区審議会 (4～5回開催)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状把握</li> <li>・ 先進地視察</li> <li>・ 協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 協議</li> <li>・ 答申書取りまとめ</li> <li>・ 答申</li> </ul>	
教育委員会定例会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模特認校制度導入の協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模特認校制度導入の決定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実施要綱の承認</li> <li>・ 指定校変更の承認</li> </ul>
総合教育会議	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模特認校制度導入の協議</li> </ul>		
当該校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色と魅力ある学校づくりの基本計画作成</li> <li>・ 中学校区での小中一貫教育の協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色と魅力ある学校づくりの実施と校内、地域への学校開放</li> <li>・ 中学校区での小中一貫教育の協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特色と魅力ある学校の積極的PR</li> </ul>





＜教育理念＞ 安曇野市教育大綱 (R5.4.1～R10.3.31) (案)

- ・からだを動かし、頭で考え、心に感ずる“未来を拓く たくましい安曇野の子ども”を育みます。
- ・すべての人が生涯を通じて学び合い、文化・芸術のかおり高い安曇野を目指します。

「からだを動かし、頭で考え、心に感ずる」は、文芸評論家・作家・教育者の臼井吉見さん(1905～1987 安曇野市堀金出身)の講演「中学生諸君に望む」(1967)から

認定こども園・幼稚園など

＜目指す教育・学校の将来像＞

“未来を拓く たくましい安曇野の子ども”を目指す安曇野市立小・中学校の将来構想 (R4.3 策定)

- ・郷土への愛着と誇りを持ち、志を高く未来を切り拓く安曇野教育の実現
- ・行きたい、学びたい、地域から必要とされる魅力ある学校の創造

家庭・地域

自ら動く児童生徒

願う 児童生徒、教師、学校の姿

学び続ける教師

- ・自ら考え、判断し、行動する児童生徒
- ・自分らしく、自己を表出する児童生徒

- ・豊かな発想でのびのびと自らを高める教師
- ・明るく元気に、笑顔で子どもの前に立つ教師

校長会・教頭会・教育会・退職校長会・県立特別支援学校・市内県立四高校校長会・市PTA連合会・教育関係七団体

地域へ飛び出す一地域との連携を一層強める学校

- ・地域の“ひと・もの・こと”と積極的なかわりを持ち、特色ある豊かな学習を展開する学校

学校運営協議会・地域学校協働活動本部

共通アプローチ

- 学力向上とICT 機器の活用 児童生徒の主体的な学びの推進、電子黒板や1人1台端末の活用
- 成長の土台づくりと体力向上 コーディネーション運動、自力登下校
- 郷土愛の育成 地域学習(安曇野の時間)、安曇野市歌、キャリア教育、緑の少年団活動
- 共生社会の実現 副学籍の活用と交流及び共同学習、人権や多様性を尊重し合うことへの配慮
- 連携と協働 幼保小中高及び民間施設との連携、地域学校協働活動
- 安曇野らしい食育 手作りお弁当の日、生産者等との交流給食
- 命を守る 新型コロナウイルス感染症対策、交通事故0プロジェクト

県教育委員会・中信教育事務所

重点プロジェクト 共通テーマ：中学校区ごとの特色と魅力を高める小中一貫教育

- 自らかわり合って学ぶ授業づくり …豊科北中学校区、三郷中学校区
  - 地域と学校の連携・協働体制づくり …豊科南中学校区
  - キャリア教育の推進 …堀金中学校区、明科中学校区
  - ICTを最大限活用した授業づくり …穂高東中学校区、穂高西中学校区
- ・分野別推進委員会 …「安曇野の時間」推進委員会、外国語教育連携委員会、ICT推進委員会  
(次の委員会は継続 …学力向上推進委員会、体力向上推進委員会、部活動運営委員会)
- 運営主体は各中学校区